

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公表番号】特表2017-520169(P2017-520169A)

【公表日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-569696(P2016-569696)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/405 (2015.01)

H 0 4 B 1/52 (2015.01)

H 0 4 B 1/54 (2006.01)

H 0 4 B 1/403 (2015.01)

H 0 4 B 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 1/405

H 0 4 B 1/52

H 0 4 B 1/54

H 0 4 B 1/403

H 0 4 B 1/00 2 8 2

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月6日 (2018.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の周波数シンセサイザと複数のキャリアアグリゲーション ( C A ) 受信機 ( R x ) チェーンと複数の C A 送信機 ( T x ) チェーンとを使用してトランシーバ設計を再構成するための方法であって、

第 1 の周波数シンセサイザを第 1 の C A T x チェーンに接続することと、

残りの複数の周波数シンセサイザの各々を前記複数の C A R x チェーンのうちの 1 つに接続することと

を備え、前記残りの複数の周波数シンセサイザのうちの第 2 の周波数シンセサイザは、共有シンセサイザとして前記複数の C A R x チェーンのうちの第 1 の C A R x チェーンと第 2 の C A T x チェーンとに接続される、

方法。

【請求項 2】

前記共有シンセサイザが時分割複信 ( T D D ) チェーンを駆動すべきであるとき、前記共有シンセサイザは、前記第 2 の C A T x チェーンまたは前記第 1 の C A R x チェーンのうちの 1 つのために使用されるように構成され、

前記第 1 の周波数シンセサイザは、周波数分割複信 ( F D D ) モードにおいて前記第 1 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

残りの周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて残りの R x チェーンのために使用されるように構成される、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記トランシーバは、前記 F D D モードにおける 3 つの C A R x チェーンと、T D D モードにおける 1 つの C A R x チェーンと、前記 F D D モードにおける 1 つの C A T x チェーンと、前記 T D D モードにおける 1 つの C A T x チェーンとを少なくとも含む、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記共有シンセサイザが T D D チェーンを駆動すべきであるとき、前記共有シンセサイザは、前記第 2 の C A T x チェーンまたは前記第 1 の C A R x チェーンのうちの 1 つのために使用されるように構成され、

前記第 1 の周波数シンセサイザは、T D D モードにおいて前記第 1 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

残りの周波数シンセサイザは、前記 T D D モードにおいて残りの R x チェーンのために使用されるように構成される、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記トランシーバは、前記 T D D モードにおける 4 つの C A R x チェーンと、前記 T D D モードにおける 2 つの C A T x チェーンとを少なくとも含む、

請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記共有シンセサイザが T D D チェーンを駆動すべきであるとき、前記共有シンセサイザは、前記第 2 の C A T x チェーンまたは前記第 1 の C A R x チェーンのうちの 1 つのために使用されるように構成され、

前記第 1 の周波数シンセサイザは、T D D モードにおいて前記第 1 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

前記第 2 および第 3 の周波数シンセサイザは、前記 T D D モードにおいて第 2 および第 3 の R x チェーンのために使用されるように構成され、

残りの周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて残りの R x チェーンのために使用されるように構成される、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記トランシーバは、前記 T D D モードにおける 3 つの C A R x チェーンと、前記 F D D モードにおける 1 つの C A R x チェーンと、前記 T D D モードにおける 2 つの C A T x チェーンとを少なくとも含む、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記共有シンセサイザは、F D D モードにおいて前記第 1 の C A R x チェーンのために使用されるように構成され、

前記第 1 の周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて前記第 1 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

残りの周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて残りの C A R x チェーンのために使用されるように構成され、

前記第 2 の C A T x チェーンは、無効にされる、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記トランシーバは、前記 F D D モードにおける 4 つの C A R x チェーンと、前記 F D D モードにおける 1 つの C A T x チェーンとを少なくとも含む、

請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記共有シンセサイザは、F D D モードにおいて前記第 2 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

前記第 1 の周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて前記第 1 の C A T x チェーンのために使用されるように構成され、

残りの周波数シンセサイザは、前記 F D D モードにおいて残りの R x チェーンのために使用されるように構成され、

前記第 2 の C A R x チェーンは、無効にされる、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記トランシーバは、前記 F D D モードにおける 3 つの C A R x チェーンと、前記 F D D モードにおける 2 つの C A T x チェーンとを少なくとも含む、

請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

ダウンリンクチャネルの数を増加させるために、拡張された受信ベースバンドフィルタ ( B B F ) 帯域幅をもつ同じシンセサイザ周波数を使用するためにイントラ帯域 / 連続受信 C A を有効にすることをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

アップリンクチャネルの数を増加させるために、拡張された送信ベースバンドフィルタ ( B B F ) 帯域幅をもつ同じシンセサイザ周波数を使用するためにイントラ帯域 / 連続送信 C A を有効にすることをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

L N A 出力をスプリットすることによって、イントラ帯域 / 不連続 C A を有効にすることをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

再構成可能なトランシーバ回路であって、

第 1 の C A T x チェーンに接続するように構成された第 1 の周波数シンセサイザと、複数の周波数シンセサイザ、残りの複数の周波数シンセサイザの各々は、複数の C A R x チェーンのうちの 1 つに接続するように構成される、と

を備え、前記残りの複数の周波数シンセサイザのうちの第 2 の周波数シンセサイザは、共有シンセサイザとして前記複数の C A R x チェーンのうちの第 1 の C A R x チェーンおよび第 2 の C A T x チェーンに接続される、

再構成可能なトランシーバ回路。